

三宅やすし後援会通信 風 かげ 第64号

目次

トピックス……………1
第295回6月通常会議……………2
議会のトピックス……………3
主な活動……………4
市政報告・
出前講座のお知らせ……………4

三宅やすしは、しみず斎園と衛生処理場を管理する「北上地区地区広域行政組合」議会の議長に選任されました



「現行の健康保険証を残すことを求める意見書」発議案に賛成討論を行う
三宅やすし



北上市議会YouTube
発議案賛成討論の様子

◆現行の健康保険証を残すことを求める意見書

「現行の健康保険証を残すことを求める意見書」を国に提出する事を求める請願が出され、教育民生常任委員会で審議の結果“採択”されました。そして本会議では議員発議の意見書として上程され、15対10で可決されました。

これはいわゆる「マイナ保険証」への一本化に伴い、現行の保険証が廃止される事に対する反対意見です。

三宅やすしは、この発議案に対して賛成討論を行い、その賛成するポイントとして次の7点を述べました。

- ①マイナンバーカードの作成は、そもそも任意であり義務ではない。しかしマイナ保険証に一本化される事は事実上は強制と同じになる。
- ②災害時、特に停電時には、マイナ保険証は使用できない。能登半島地震でも問題となった。
- ③個人情報が出て紐づけられるトラブルが相次いだ事への不安。また、マイナ保険証は通院するたびに提出しなければならず、持ち歩くことによる紛失も懸念され、健康保険証との紐づけをしていない人もいる。
- ④北上市のマイナ保険証利用率は 本年3月時点で 8.89%と、全国平均に比べ やや高いものの1割にも達していない。
- ⑤現行の保険証の廃止に伴い、政府作成のプログラムにより資格証明書が自動的に発行されるとの事。しかし、そのチェック等保険者側の業務増大が危惧されるが、現行のままであれば新たな業務負担は生じない。
- ⑥マイナ保険証の有効期限は5年。マイナカード自体は10年更新であり混同されやすい。有効期限がある事自体があまり知られていない為、期限切れで混乱する可能性が高い。
- ⑦意見書は、マイナ保険証を否定するものではなく、国民皆保険制度の下、マイナ保険証へ一本化するのではなく、無駄な業務や混乱を避け、誰もが必要な時に必要な医療が受けられる体制を維持し、一人ひとりの選択肢を確保する意味で、現在の健康保険証を存続させることが必要。

* 岩手県医師会からも存続を求める要望が出されています。また、他県ではマイナ保険証の資格情報が“無し”と表示された為、その日の受診を諦めて帰宅した78歳の女性が、同日夜に容態が急変して死亡したという事件も発生しました。現行の保険証との併用を継続しなければ、同様な死亡事故は増えるのではないかとも言われています。

第295回6月通常会議

6月議会において三宅やすしは一般質問等はいりませんでしたが、補正予算で大学設置関連の予算が計上され可決されましたので、質疑などを解説します。

大学設置推進事業について

北上市総合計画 2021-2030の中で、大学等高等教育機関の設置に向けた“研究”を進める事が示されています。これにより令和3年度には市内での研究を実施し、可能性についての報告書をまとめました。令和4年度には、県南地区の企業への調査により、理工系人材に対する需要がある事が明らかになりました。(出口側調査)

令和5年度には、県内の高校生や保護者、進路指導の先生に対してアンケート等による調査を実施し、一定数の進学人数が確保されるとの見込みが報告されました。(入口側調査)

広報きたかみ 令和6年5月号にも、大学設置の「必要性」「ニーズ」「方向性」「実現性」「経済効果」の5つの視点についての調査報告が掲載されました。

6月議会の補正予算では、この報告結果を受けて、更に踏み込んだ「基本構想」を策定する予算・約750万円が計上され、可決されました。この基本構想とは、「設置の意義」「理念」「教育目標」「学部学科構成・定員・施設設備」「開学時期」「大学名称」「管理運営・事業主体・立地場所」等の事です。これらを具体的に検討し、新たな大学の形を明確にした上で、設置の可否について判断していこうとするもので、議会でも様々な意見が出されましたが、今回の基本構想を策定しないと、具体的な大学像が分からず、可否判断がつかない事から全会一致で可決されたものです。

出口側調査では、理工学系の大卒のニーズの中でも、「機械」「電気・電子」「情報」「材料」「化学」の分野の人材が求められているという結果にも拘わらず、入口側調査では、進路希望を単に「理工学系」でしか調査をしていない等、調査自体に疑問が残る点も多くあります。更に、設置後の運営経費についても、1学年の定員を60人、80人、100人、120人のケースで試算していますが、人数が多い程、黒字になるという結果です。これは4年前に開学された、新潟県の三条市立大学を視察して聞いた話とは整合しません。(三条市立大学では、50人では赤字で、100人を超えると人件費等も膨らみ、やはり赤字となる為、80人にしたとの事でした。)

昨年度までの調査結果を基にして、今回の基本構想策定の前提条件は、①工学系1学部1学科、②市立による大学、③設置場所は北上駅前再開発に絡めて検討、という3要素です。また、市民への説明や建設に係る財源確保(国の補助金等)の準備も行うとの事。

国では、理工系学部の整備を進めており、岩手大学の工学部も再編するようですが、人口減少など大学を取り巻く環境は厳しいものがありますので、議会・議員個人としても市民からの意見を聴取して、設置の可否について判断していきたいと思っております。



北上駅西口の再開発計画が検討されており大学がその目玉となるのか



開学時は定員80人に対して800人の志願者があった三条市立大学

議会のトピックス

6月議会の審議事項ではありませんが、以前から指摘していた事業について気になる点がありましたので、解説します。

モバイルクリニック事業について

北上市モバイルクリニック推進事業イメージ図



- 病院、診療所への移動は不要
- 車内のモニターでいつもの医師が画面越しに診察
- 看護師が診察をサポート。面倒な機器操作は不要

『モバイルクリニック事業』は令和6年6月号の広報きたかみにも掲載されましたが、看護師が専用車両に乗り、患者の自宅を訪問。車内でオンライン診察が受けられるという事業です。広報誌では、誰でも受診できるかの様な書き方でしたが、実際には医療機関が無い地区に住んでおり、慢性疾患の治療で通院中の方のみが、利用できるという制限があります。

その為、令和6年1月25日から本格運用を開始しているにもかかわらず、5月末までの利用者は10人14件に留まっています。実証実験では3ヶ月間で23名44件という実績でしたが、はるかに少ない人数です。周知不足や、診療費の支払いや薬の受け取り等に課題があるとは言え、令和6年度予算 約3,500万円という莫大な費用を

掛けている割には、成果が上がっていません。単純計算すると1回の診療に掛かった経費は 約74万円にもなります。しかもこの費用は専用車両・機器類の購入費用の 約1,800万円は含まれません。

物珍しさで始めただけの事業にも見え、議会でも反対意見が多数ありましたが、改選前の採決で可決され、事業が実施されてしまいました。まだスタートしたばかりでもありますので、もう少し注視していきたいと思えます。



江釣子地区に進出を予定している事業者が運営している、北上済生会病院の院内保育園「なでしこ保育園」

江釣子地区への民間(*)認定こども園の新設について

6月の議会全員協議会において、民間の株式会社が認定こども園を江釣子駅近くに新設したいとの申し入れについて説明がありました。この会社は広島市が本場で、全国400ヶ所以上で保育所等を経営する株式会社で、令和8年4月の開園を目指したいとの事。定員は168名で病児保育、児童発達支援事業所も併設との内容です。

この申し入れにより、老朽化により建替え等が予定されていた北上市立の「江釣子幼稚園」「江釣子保育園」「嶋岡崎保育園」の3園は閉園し、市内全体の需給バランスを保つという計画も示されました。市としては、近い将来の3園の建替え費用より、民間経営の新園への補助金の方が、かなり安価で済むという判断です。

県内にも株式会社が運営する保育施設は多数有り、保育の質も公立に比べて遜色無いとも言われていますが、株式会社は利益追求であり、保育士等の処遇や突然の撤退など懸念材料もあります。

(実際に他県では違法な撤退事例有り) 認可は県が行うものですが、市からも意見書の提出が必要です。(市議会の議決は不要)

(*) 認定こども園とは、幼稚園と保育園の両方の良さを併せ持ち、教育・保育を一体的におこなう施設。

0歳から就学前の子どもまで、保護者が働いている・いないに拘らず利用でき、預かり時間が長いことが特徴。

三宅やすしの主な活動 [太字が議会関係]

4月17日 後援会通信 No.63発行	5月17日 議会改革推進会議	6月10日 議会運営委員会
18日 相去地区自治協賛議員会	〃 南小スポーツ文化振興会総会	11日 北上市R6重要課題説明会
24日 教育民生常任委員会	20日 北上地区夕陽組合総会	12日 会派例会
〃 議会改革推進会議	21日 会派例会	13日 第295回6月臨時会議[初日]
25日 会派例会	23日 市政調査会総会	17-18日 教育民生常任委員会
29日 消防演習	〃 県夕陽協会・市夕陽共済総会	19-21日 一般質問
30日 北上西和賀地区戦没者追悼式	26日 相去地区境塚愛護会総会	24日 一般質問
5月 2日 北上地区広域行政組合議会	27日 川岸商店会総会	26日 議会運営委員会
3日 黒陵100周年記念講演・祝賀会	28日 教育民生常任委員会	27日 南部地域農業再生協議会総会
7日 教育民生常任委員会	6月 2日 相去町民運動会	28日 6月臨時会議[最終日]
8日 会派勉強会[一般質問]	3日 南中学校区学校運営協議会	29日 盛岡1775周年・岩手県大会
9日 議会運営委員会・視察対応	5日 広域行政組合環境保全委員会	7月 1日 教育民生常任委員会
10日 教育民生常任委員会	7日 北上1775協会理事会	6日 会派1775勉強会
14日 第294回5月臨時会議	9日 選対本部解散式	10-12日 地方議会於ト・視察[川崎市]



0120-00-3268
0197-63-2200



コインランドリーBLUE WATER大塚店 ICカードで約3割お得!

☆☆☆三宅やすし市政報告・出前講座のお知らせ☆☆☆

三宅やすしの市政報告は、パワーポイント(スライド)を使って説明し、大変分かりやすいと好評です。各種集会などへ出前講座としても伺いますので、下記までお気軽にお問合せください。

- 皆様のご意見をお待ちしております。下記あてにFAX、メール等でお寄せください。(電話は留守電となっています) また、三宅やすしが制作、運営しているホームページでは活動状況を詳しく報告しています。

※この後援会通信は、身体障害者授産施設
「社会福祉法人自立更生会
北上アビリティセンター」
にて、ダイレクト印刷しています。
北上市二子町秋子沢214-7 TEL:0197-66-5400

バックナンバーの在庫については後援会へ

北上市議会議員 三宅やすし後援会
〒024-0051 岩手県北上市相去町相去28
電話:0197(67)1819 FAX:0197(67)4227
Email miyake12@gmail.com
URL <https://www.miyake12.com/>



キリトリ

三宅やすし後援会入会申込書

三宅やすし後援会では会員を募集しております。
お知り合いの方などご紹介ください。会費は無料です。

このQRコードからも
ご入会頂けます↓

ふりがな 氏名	住所	電話番号	性別	生年月日
	〒		男・女	
	〒		男・女	

